

令和5年度 学校アンケート集計結果

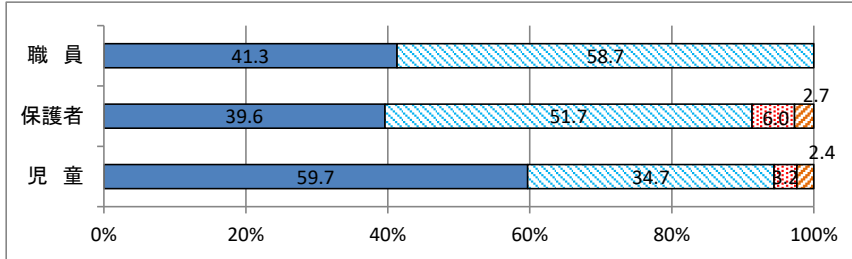
児童回答数 531 人／ 549 人（回答率 96.7%）
 保護者回答数 298 人／ 549 人（回答率 54.3%）
 地域回答数 9 人 ※学校運営協議会及びPTA会長
 職員回答数 46 人

■ A：あてはまる
 ■ B：だいたいあてはまる
 ■ C：どちらかといえばあてはまらない
 ■ D：あてはまらない
 △：無回答

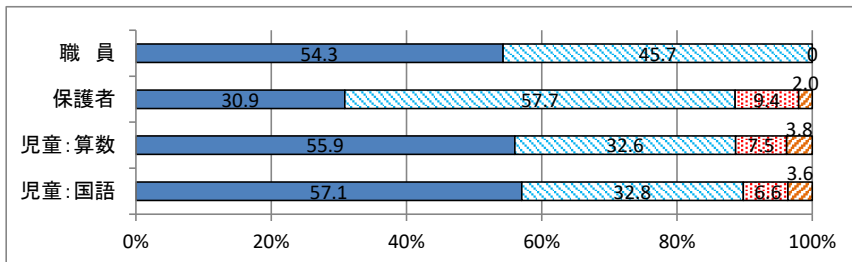
(↑・↓) 昨年度比 3～9% 高低
 (↑・↓) 昨年度比 10%以上 高低
 (⇔) 昨年度と同等

〔集計結果を基にした考察〕

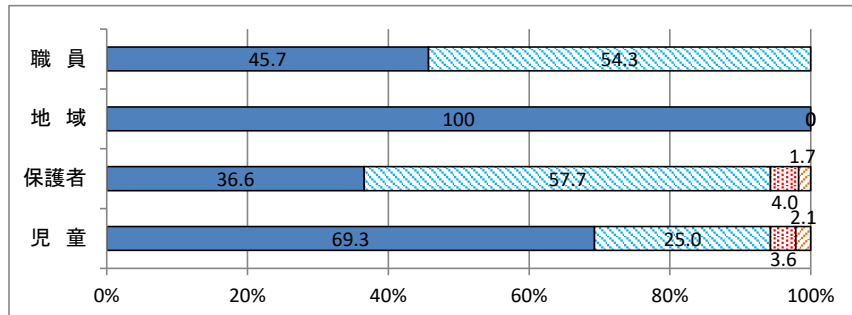
① 教員の分かりやすい授業の実施



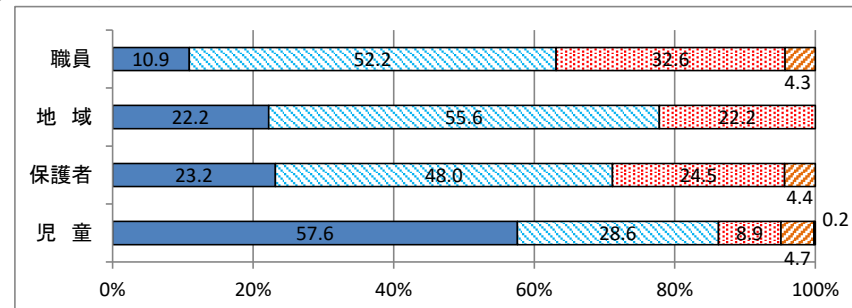
② 教員の基礎基本定着への指導(国・算)



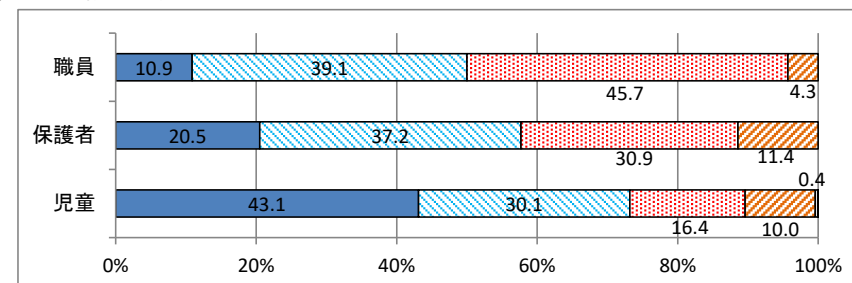
③ 児童一人一人へのきめ細かな対応



④ 児童のあいさつの様子



⑤ 児童の読書の様子



①～③の取組について

すべての職員が、常に児童一人一人を大切に
 した指導を行い、分かりやすい授業を心が
 けており、児童の評価も概ね良い傾向にある。

- ① 分かりやすい授業 A+B 100% (⇔)
- ② 基礎基本の定着 国語A+B 89.9% (⇔)
算数A+B 88.5% (⇔)
- ③ 一人一人へのきめ細かな対応
A+B 100% (⇔)

昨年度と同様に、保護者の評価は職員と比
 べてやや低いですが、多くの保護者が、学校は分
 かりやすい授業や基礎基本の定着のための
 指導を行っていると感じていただいていること
 がうかがえる。今後さらに、授業参観等を通し
 て、学校の取組を理解していただけるよう努め
 ていくとともに、質の向上を目指した家庭学習
 の習慣化を図り、児童の学力を確実に身に
 付けさせたい。また、教師自身が常に教材研
 究を進め指導力向上をするとともに、児童の
 意欲や集中力を高める工夫等を実施してい
 きたい。

④ 児童のあいさつについて

職員	A+B	63.1% (↑)
地域	A+B	77.8% (↑)
保護者	A+B	71.2% (⇔)
児童	A+B	86.2% (⇔)

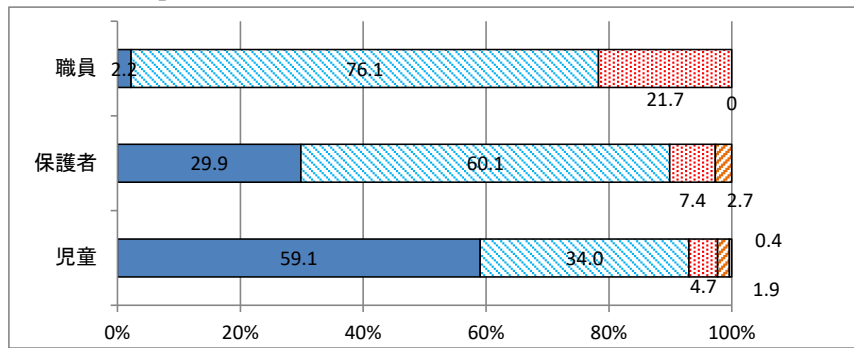
昨年度と比較すると、職員・地域の方々・保
 護者から見て、児童のあいさつの様子が良く
 なってきている様子が見られる。今後も、登下
 校時や普段のあいさつを徹底させていくととも
 に、家庭と連携しながら、あいさつの意識を高
 め実践できるよう、継続指導していきたい。

⑤ 児童の読書について

職員	A+B	50.0% (↓)
保護者	A+B	57.7% (⇔)
児童	A+B	73.2% (⇔)

昨年度ほぼ同様である。学校では、意図的
 に読書の時間を設定し、図書室利用の増加や
 本に触れる機会を作っている。今後も、読書の
 楽しさを味わわせ、活字に慣れさせるととも
 に、家庭読書の増加や読書の機会を工夫して
 いきたい。

⑥ 「よい子の一日」の遵守

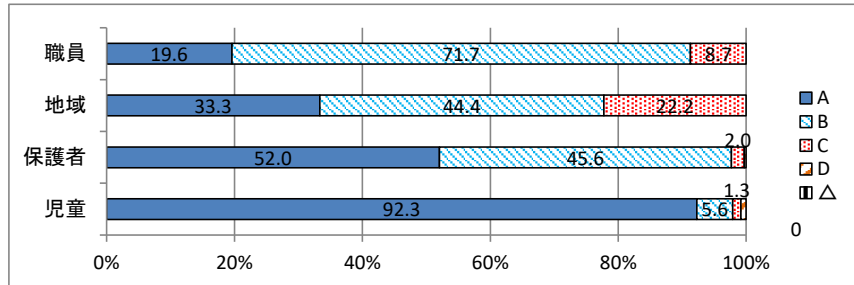


⑥ 「よい子の一日」の遵守について

職員	A+B	78.3%(↑)
保護者	A+B	90.0%(⇔)
児童	A+B	93.1%(⇔)

ここ数年、同様の結果であるが、職員と児童の間で乖離が見られる傾向がある。学校生活上のきまりなどについては、各学級で日々徹底した指導を行っている。さらにきめ細かな指導できるよう、全職員で共通理解・共通指導を行うとともに、保護者とも連携をしながら継続指導していきたい。

⑦ 児童の友達との様子

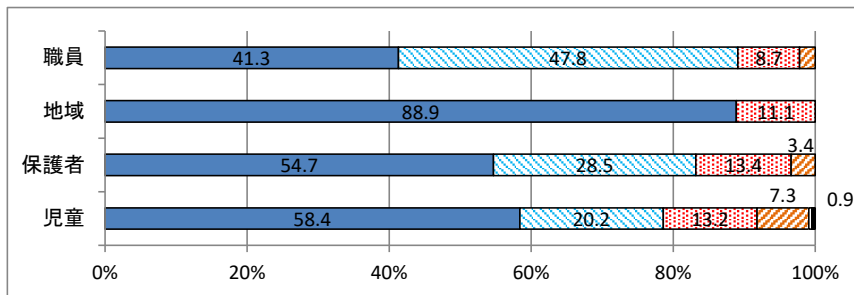


⑦～⑧ 友だちとの様子・外遊びについて

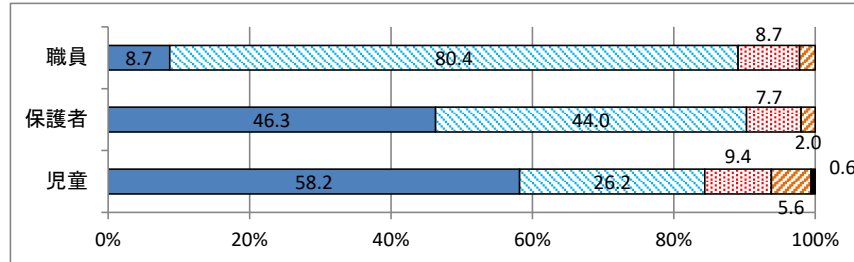
	⑦	⑧
職員	A+B 91.3%(↑)	89.1%(⇔)
地域	A+B 77.7%(↓)	88.9%(↑)
保護者	A+B 97.6%(⇔)	83.2%(⇔)
児童	A+B 97.9%(⇔)	78.6%(⇔)

本校の児童は、友達とよく関わり、積極的に屋外で遊んでいる様子が見られる。しかし、児童同士のトラブルが発生したり、遊び方が悪く近隣の方から注意を受けたりすることもあった。学級遊びや縦割り班活動等を工夫し、遊びのルールを守ることや、時と場に応じて相手を思いやりながら楽しく遊べる力を育てていきたい。また、事故や事件にならない遊び方についても指導を続け、集団で遊ぶ楽しさを伝えていきたい。

⑧ 児童の外遊び



⑨ 早寝・早起き・朝ご飯の習慣化

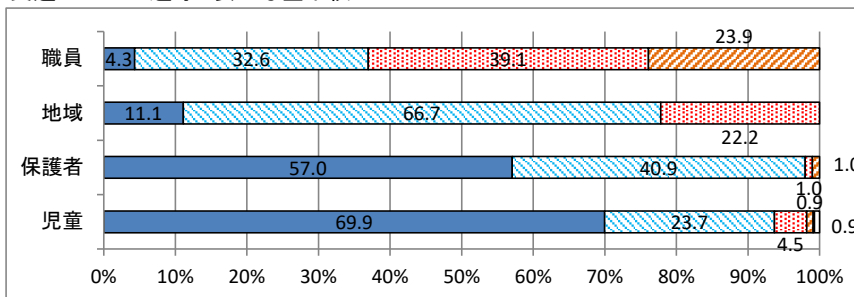


⑨ 早寝・早起き・朝ご飯について

職員	A+B	89.1%(↓)
保護者	A+B	90.3%(⇔)
児童	A+B	84.4%(⇔)

8割以上の児童が、基本的な生活習慣の定着が図れていることがうかがえる。しかし、朝から体調不良を訴えてくる児童や遅刻してくる児童も見られるため、家庭との連携を図りながら、児童に対し、睡眠や食事の大切さを継続して伝える必要がある。

⑩ 交通ルールの遵守と安全な登下校



⑩～⑪ 交通ルールの遵守と

自転車の乗り方について

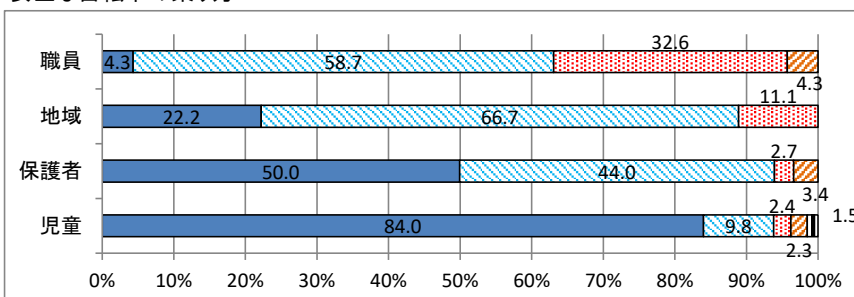
	⑩	⑪
職員	A+B 36.9%(↓)	63.0%(↓)
地域	A+B 77.8%(⇔)	88.9%(⇔)
保護者	A+B 97.9%(⇔)	94.0%(⇔)
児童	A+B 93.6%(⇔)	93.8%(⇔)

昨年度と同様、職員と保護者・児童の意識に大きな差がある。登下校時に安全に歩行できるよう日々指導したり、保護者へ連絡し学校と同様な声掛け等をしてもらいたい。

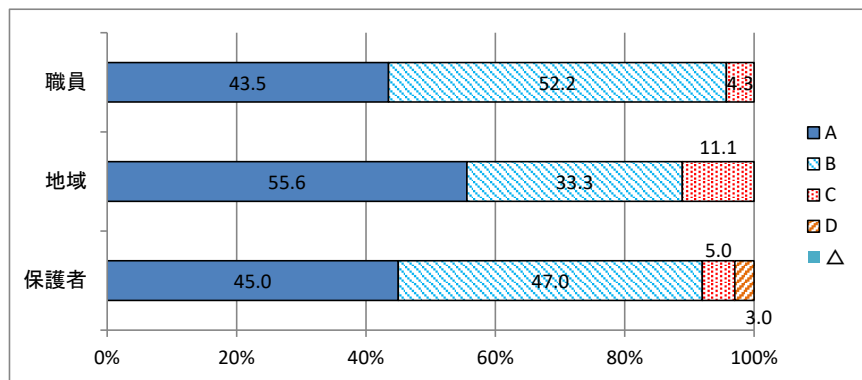
大人の目が届かない所でルールが守れず危険な行為等をしていることがある。命の大切さや公德心を高めていくように継続指導していきたい。

登下校の安全や自転車の乗り方、地域での遊び方等については、学校での指導に限界があるため、家庭や地域でも日々声を掛けていただき、地域全体で子どもの安全を見守っていく必要がある。

⑪ 安全な自転車の乗り方



⑫ 学校の情報発信



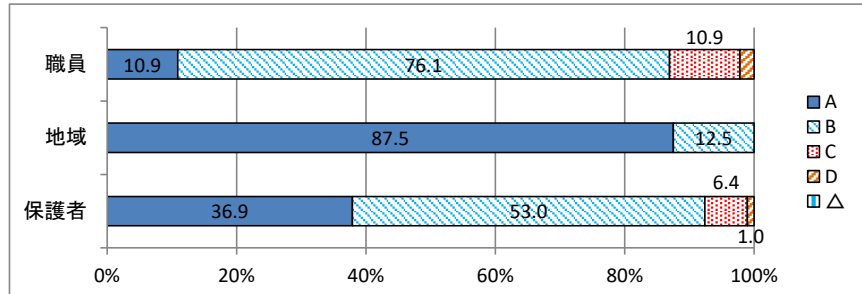
⑫～⑬ 学校の情報発信と

家庭・地域との連携、協力について

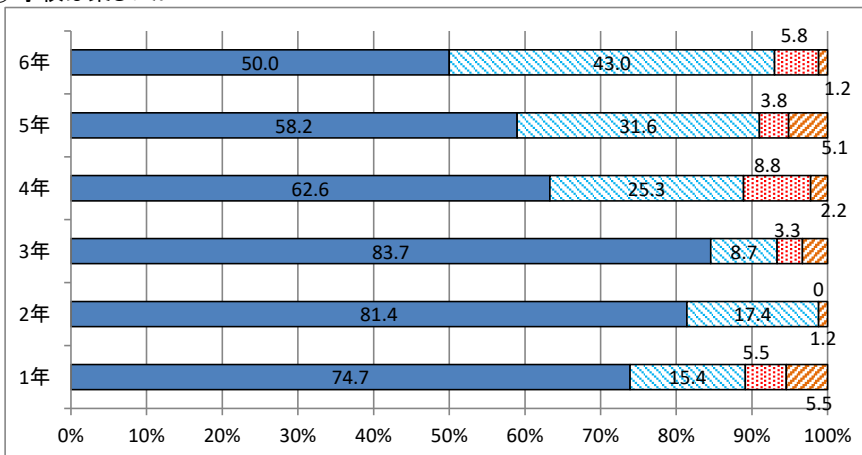
	⑫	⑬
職員	A+B 95.7% (↓)	87.1% (↓)
地域	A+B 83.3% (⇔)	100% (⇔)
保護者	A+B 92.0% (⇔)	89.9% (↓)

たよりやメール等を通じて、様々な情報を提供してきた。授業参観や学校行事等で保護者に公開できる状況が再開されてきたため、これまで以上に家庭や地域との連携が図れるよう努めていきたい。また児童には、配付物をきちんと家庭へ届けることや保護者にはしっかり読んでもらうことが必要である。

⑬ 家庭・地域との連携・協力



⑭ 学校は楽しいか

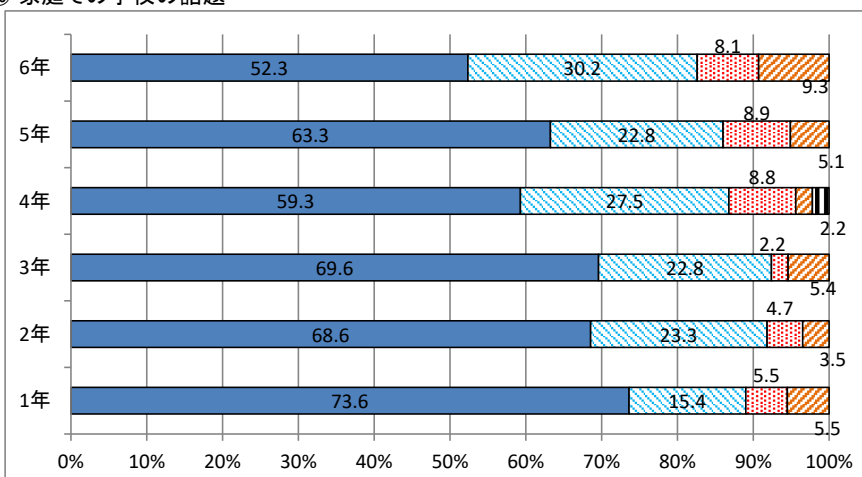


⑭ 「学校は楽しいか」について

A+B 1年生	90.1%	2年生	98.8%
A+B 3年生	92.4%	4年生	87.9%
A+B 5年生	89.8%	6年生	93.0%

学校全体で見ると92.1%の児童が楽しいと答えている。
楽しくない傾向にある児童については早々に状況把握をしたり、Q-Uを生かした教育相談を意識して進めたりして、安心感や居がいのある環境づくりに努めたい。また学習への意欲等においても向上することで、楽しく有意義な学校生活が送れると考えられるため、指導の工夫等が必要である。

⑮ 家庭での学校の話題

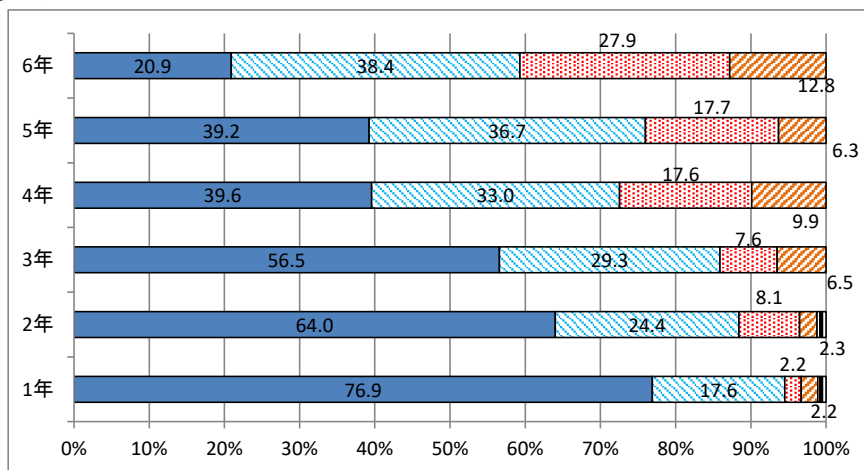


⑮ 家庭での学校の話題について

A+B 1年生	89.0%	2年生	91.9%
A+B 3年生	92.4%	4年生	86.8%
A+B 5年生	86.1%	6年生	82.5%

学校全体で見ると、88.1%の児童が家庭で学校の話をしていると答えている。
家庭における会話を大切に、児童の様子を学校と家庭と両方で把握していきたい。親子ふれあいウィークを生かして、話す時間や内容を学校から提案してみたり、様々な便り等で情報を発信したりして、親から子へ話題を作れるようにしていきたい。

⑩ 家庭学習時間

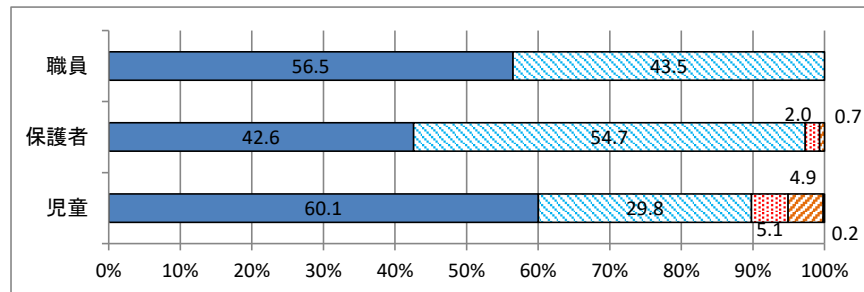


⑩ 家庭学習時間について

A+B 1年生 94.5% 2年生 88.4%
A+B 3年生 85.8% 4年生 72.6%
A+B 5年生 75.9% 6年生 59.3%

家庭の学習時間については、「学年×10分+10分」を学校として取り組ませている。児童によって取組状況の差が大きい。内容の量だけでなく、その児童がどう取り組むと良いかなど質の向上を目指した助言が必要であり、日々の積み重ねが大切であることを伝えていきたい。担任や校長の励ましもあり、自主学習に取り組む児童は多い。さらに積極的に取り組む児童を増やすために、自主学習の例を示すなどして学年に応じて取り組めるようにしたい。学年・学級に差があるので、すべての担任が自主学習を奨励できるようにしたい。

⑪ 善悪の判断の指導

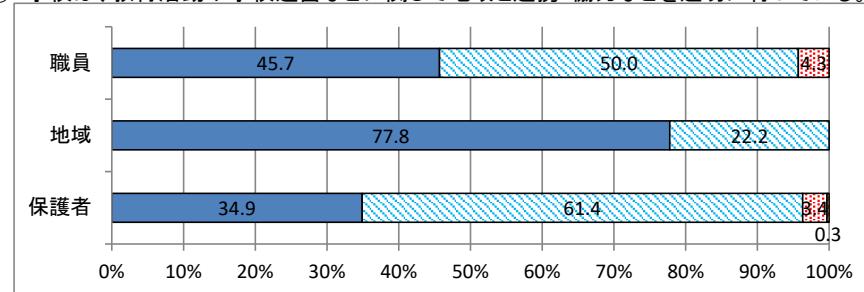


⑪ 善悪の判断の指導について

職員 A+B 100%(⇔)
保護者 A+B 97.3%(⇔)
児童 A+B 89.9%(⇔)

三者とも高評価である。児童の判断力を高めるために、そして実践力が育つように教育活動全体で道徳教育を強化していく。具体的な場面で指導を日常化し、学校と家庭が同一歩調で指導できるよう今後も進めていきたい。

⑫ 学校は、教育活動や学校運営などに関して地域と連携・協力などを適切に行っている。

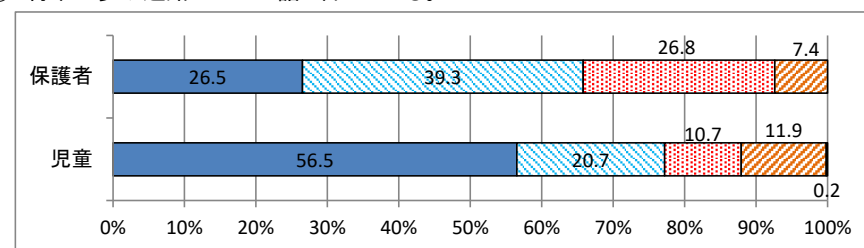


⑫ 学校と地域との連携・協力について

職員 A+B 95.7%(↓)
地域 A+B 100%(⇔)
保護者 A+B 96.3%(↑)

三者とも高い評価である。様々な教育活動や学校運営協議会・学校支援ボランティア等を通して、地域とともにある学校づくりを目指し、今後も継続していきたい。

⑬ 将来の夢や進路について話し合っている。



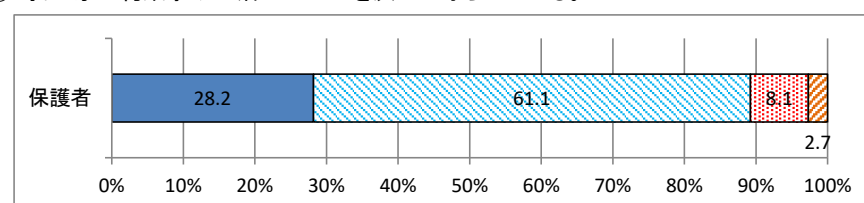
⑬～⑭ 将来の夢や進路と家庭のルールについて

⑬ ⑭
保護者 A+B 65.8%(⇔) 89.3%(⇔)
児童 A+B 77.2%(⇔)

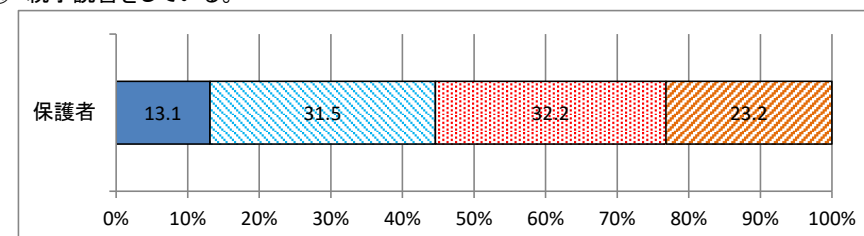
昨年度と同様の結果だが、年々、将来の夢などについて話し合う機会を設けている家庭が減少してきている。学校ではいろいろな面で夢をもって頑張るすばらしさを実感させたい。家庭で児童と保護者が語り合えるきっかけづくりとなるよう進めていきたい。

各家庭でルールを決め、それを守るよう話し合っている家庭が多い。社会生活においての望ましいルールについて、保護者の意識をさらに向上できる機会を設けていきたい。

⑭ 我が家の約束事や生活のルールを決めて守らせている。



⑮ 親子読書をしている。



⑮ 親子読書について

保護者 A+B 44.6%(⇔)

昨年度と同様、親子で読書をする家庭は、半数以下であるが、若干の増加が見られた。今後も親子ふれあいウィーク等の期間を利用し、読書の楽しさや良さを伝えたい。親子で触れ合う時間の大切さについて、発信し続けていきたい。